学校番号	2101

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）情報演習	単位数	２単位	年次	全年次 （情報Ⅰ履修済後）
使用教科書	なし						
副教材等	「情報Ⅰ Flex 学習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習ノートを使い、コンピュータ知識をみにつけます。学校のコンピュータを使い、実技の実習もあります。コンピュータ・リテラシー　を身につけましょう。
・タイピングの実技練習を行い、ホームポジションに慣れ、入力速度を上げましょう。
・コンピュータ知識、情報通信ネットワーク、情報モラルと情報セキュリティ、ＩＣＴを活用した問題解決について理解を深めましょう。
・情報を適切に活用するためのモラルやスキルを身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・情報社会の問題解決をする際に必要なコンピュータ知識を習得する。
・情報社会の問題解決に必要となる応用的なコンピュータ端末やソフトウェアの操作技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・問題解決のプロセスを踏まえながらソフトウェアを活用し、自ら考え判断し、問題解決に取り組むことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・問題解決に対して積極的に取り組み、改善しようとすることができる。
・データを積極的に完成させ、それを応用し、実務や生活に活用できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文字を速く入力できるようにタイピング技能を身につける。 コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会との関わりについて理解する。	コンピュータ知識、情報通信ネットワーク、情報モラルと情報セキュリティ、ＩＣＴを活用した問題解決について情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。	情報社会においてビジネスシーンとの関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて、主体的にコンピュータのソフトウェア（ワープロ、表計算）を活用し、作成・改善できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	コンピュータ知識	・タイピング ・コンピュータ知識 ・ワープロソフト基本操作	a:５分間タイピングを行い、得点をはかる。 b:コンピュータ知識やワープロソフトの基本操作について説明できる。 c:ワープロソフトでコンピュータ知識についてレポートに記述することができる。	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート
	情報通信ネットワーク	・タイピング ・情報通信ネットワーク ・ワープロソフト応用操作	a:５分間タイピングを行い、得点をはかる。 情報通信ネットワークについて理解している。 ワープロソフトの応用操作について理解している。 b:ビジネスシーンを想定した文書を作成、表現できる。 c:ビジネスシーンとの関わりについて考えながら、主体的に新たな文書を作成できる。			
後半	情報モラルと情報セキュリティ	・タイピング ・情報モラルと 情報セキュリティ ・表計算ソフト基本操作	a:５分間タイピングを行い、得点をはかる。 b:情報モラル、情報セキュリティ、表計算ソフトの基本操作について説明できる。 ｃ:表計算ソフトを使い、データ処理を行うことができる。			
	ＩＣＴを活用した問題解決	・タイピング ・ICTを活用した問題解決 ・表計算ソフト応用操作	a:５分間タイピングを行い、得点をはかる。 ＩＣＴを活用した問題解決や表計算ソフトの応用操作について理解している。 b:ビジネスシーンを想定した数値データを作成、表現できる。 c:ビジネスシーンとの関わりについて考えながら、主体的に新たなデータを作成できる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度